

# 平成29年度第3回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

## 1 日時

平成29年7月27日（木） 午前10時27分から午前11時46分

## 2 場所

青梅市役所 議会棟3階 第3委員会室

## 3 出席者

[出席委員]

川合 純 委員	水村 美穂子 委員	山中 眞一郎 委員
加羽澤 綾 委員	土屋 喜夫 委員	菊池 一夫 委員
大住 修司 委員	北島 朋子 委員	鳥居塚 卓 委員

[出席青梅市職員]

浜中青梅市長以下10名

## 4 委嘱状交付

## 5 議事概要

(1) 市長あいさつ

(2) 委員自己紹介

(3) 理事者および職員紹介

(4) 議題

ア 委員長の選任

菊池委員が推薦され承認された。

イ 委員長職務代理者の指名

菊池委員長から水村委員が指名され、承認された。

ウ 今後の委員会の進め方について

【行政管理課長説明】

委員会および行革プランの概要説明。意見交換。

エ 今後のスケジュール

【行政管理課長説明】

定例会スケジュールについて説明。意見交換。

オ 次期行財政改革推進プランの策定に向けた提言について

【行政管理課長説明】

提言について説明。

(6) その他

【行政管理課長説明】

次回委員会で協議したい項目を、8月25日までに事務局に提出することとする。

委員会の議事録については、概要版とする。

委員会は、公開となっているため、傍聴することができる。

次回委員会は、平成29年11月16日（木）に開催予定。

## 5 主な質疑・意見等

### 《質疑》

- [Q] 次回の青梅市行財政改革推進委員会で協議したい項目は、一人一項目のみなのか。
- [A] 一人一項目のみではない。
- [Q] 次回の青梅市行財政改革推進委員会での協議は、どのように行われるのか。また、その協議結果はどうなるのか。
- [A] 各委員から提出された協議したい項目については、市の行財政改革推進本部で選定した後、資料を作成し、各委員へ事前に配布した上で、次回委員会でその資料にもとづいて協議・検証を行っていただく。また、その協議結果を、行財政改革推進委員会での意見として踏まえ、担当部署で検討し、次年度以降の予算や取組み等に反映させていく。
- [Q] 第4回青梅市行財政改革推進委員会で協議したい項目は、次期行財政改革推進プランの策定に向けた提言とは別なのか。
- [A] 別である。
- [Q] 次期行財政改革推進プランの策定に向けた提言を受け、市はどのように進めて行くのか。
- [A] 次期行財政改革推進プランの策定に向けた提言を踏まえ、今後、次期行財政改革推進プランを策定していくところである。

### 《意見等》

- ・行財政改革は、事業の経費については何も触れていないが、どのくらい経費がかかっているかが分からないと、どのくらい市が力を入れようとしているのか分からない。
- ・現状がどうなっているのか、それに対してどういう施策をとっているのかということとのつながりが見えないので、到達目標が見えづらく、何を言っているのか分からない点がある。
- ・具体的にどのような施策を行っているかについて、KPIを設定していかないと、それが実行されたという根拠が見えない。具体的に何を行い、どういう成果につながったのかということが見えづらいところが、委員が意見を出しづらいところではないかと思う。
- ・KPIの部分も見直しをかけるべきではないかと思う。
- ・市民の立場からは、協議したい項目がどんどん出ると思うが、その事業は予算がなければできないのだから、協議したい項目を提出する際に、予算のことまで検討する必要があるか。
- ・何を議論して良いのか分からないので、どのような目的でどのようにして事業計画が成り立ったのかということを経験することができないのかと思う。
- ・総合長期計画の実施計画書では、事業計画が3か年記載してあるが、その都度思いついたことを書いてあるだけに見える。年度計画は、例えば、目的を達成するために3年の初年度はここまでやり、次年度はここまでやるというような計画を立てていかななくてはいけないと思う。年度計画に目標がなく、数値化しているものが少ないように思うので、その

辺を議論してはどうか。

・行政の見えるかがもう少し進められるといいと思う。例えば、分かりやすい長期計画など、そういう見える化をするという作業が少し欠けている気がするので、そういう部分を進めてもらえると議論しやすくなり、良い意見が出るのではないかと思う。